

平成29年度 廃棄物会計

ごみ・資源物処理経費に総額約28億6,989万4千円

市民1人当たり 2万3,919円
1世帯当たり 4万8,321円

平成29年度にごみ・資源物の処理にかかった経費は、総額で約28億6,989万4千円でした。これは、本市の平成29年度一般会計決算の約7.2%、市税収入の約12.0%になります。

歳入総額は約4億3,678万7千円

ごみ・資源物の処理に係る歳入は、約4億3,678万7千円でした。これは、ごみ・資源物処理経費総額の約15.2%に当たります。

環境基金について

環境基金は、ごみ処理施設の整備や新たなごみ減量施策、環境保全事業の充実などに充当するため設置しているものです。

資源化処理にも

多額の経費が使われます

平成29年度に資源化処理（資源物の収集、資源物・燃やさないごみ・プラスチックごみなどの資源化）にかかった経費は、約7億3,059万1千円（ごみ・資源物処理経費総額の約25.5%）でした。

の経費が使われます。そのことから、まずはごみになるものを元から減らす発生抑制に取り組むことが重要です。

ごみの減量でいちばん大切なことは発生抑制です

- 日常生活の中で実践できる、代表的な発生抑制の取り組みを紹介します。
▷生ごみの水切りを徹底する
▷マイボトル、マイバッグを持参する
▷余分なものは買わない
▷過剰包装やダイレクトメールは断る
▷食材は作りすぎない、使い切る

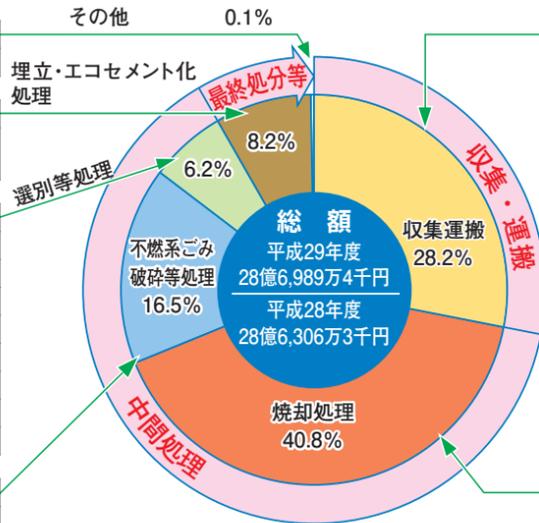
1t当たりの処理経費

Table with 2 columns: 種別, 処理経費. Lists various waste types and their costs per ton.

ごみ・資源物の処理に係る歳入内訳

Table with 2 columns: 主な内訳, 金額. Breaks down revenue from waste processing.

Comparison table for平成29年度 and平成28年度 across various waste categories like 埋立・エコセメント化処理, 選別等処理, etc.



Comparison table for平成29年度 and平成28年度 for specific processing methods like 収集運搬, 燃やすごみ, etc.

Summary table for 焼却処理 comparing平成29年度 and平成28年度.

Infographic showing the cost of processing 1kg of various waste types: 燃やすごみ (127.6円), 燃やさないごみ (176.5円), プラスチックごみ (160.8円), etc.

ごみ減量大作戦!!

日ごろから、ごみの減量と資源化にご協力いただきましてありがとうございます。

今夏は、記録的な猛暑のため、例年にも増してペットボトル入り飲料で水分補給を行う機会が多かったのではないのでしょうか。現在、回収したペットボトルは、市内で選別・圧縮してから、(公財)日本容器包装リサイクル協会の指定工場...

リサイクル原料としてさらなる品質向上のため、ペットボトルを出すときは、軽く水洗いしてからキャップとラベルは取り除いてください。

引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

【7月分のごみ排出量報告】

7月分の燃やすごみ1人1日当たり排出量は275.4gとなり、目標値(272.2g)を3.2g上回りました。

ごみ1人1日当たりの排出量(単位:g)

Table showing waste discharge data for July, comparing actual values with targets and previous months.

可燃ごみ処理の支援に深く感謝申し上げます

市内から発生する可燃ごみは、平成19年3月末に老朽化に伴い本市の可燃ごみを焼却処理していた二枚橋衛生組合の全焼却炉の運転を停止したことから、平成19年4月より、その全量を多摩地域の各団体の焼却施設で処理していただいています。

平成30年度の可燃ごみ処理については、多摩川衛生組合(構成市=稲城市、狛江市、府中市、国立市)、国分寺市、ふじみ衛生組合(構成市=三鷹市、調布市)からご支援をいただいております。

可燃ごみの共同処理については、浅川清流環境組合(構成市=日野市、国分寺市、小金井市)にて、新可燃ごみ処理施設の平成32(2020)年度の本格稼働をめざし、平成29年11月に建築工事を開始し、事業を進めています。

可燃ごみの共同処理については、浅川清流環境組合(構成市=日野市、国分寺市、小金井市)にて、新可燃ごみ処理施設の平成32(2020)年度の本格稼働をめざし、平成29年11月に建築工事を開始し、事業を進めています。

平成30年度の可燃ごみ処理の支援先

Table listing support organizations and their respective support amounts for combustible waste processing.